

研究代表者 所属・職：子ども発達学部・准教授

氏 名：伊藤 修毅

研究課題名：日本版知的障害児・者用包括的性教育カリキュラム開発のための予備的研究

取り組み状況

①諸外国の動向に関する研究

1)イギリスにおける知的障害児・者に対する性教育の検討

David Hartman “Sexuality and Relationship Education” の翻訳に着手することとし、分担を決定し、翻訳作業を進めた。

2)韓国における知的障害児・者に対する性教育の検討

11月に朴恵貞氏（東京造形大学非常勤講師、中央大学兼任講師）を招き特別講座「韓国における障害児・者に対する包括的セクシュアリティ教育の現状」を開催した。

②国内の萌芽的先進事例の収集

1)国内の萌芽的先進事例の収集

性教育実践が報告される研究会等に参加し、また、日本性教育協会の資料室を活用し、萌芽的先進事例の収集を行った。

2)特別ニーズ教育学会におけるラウンドテーブルの開催

10月に行われた日本特別ニーズ教育学会においてラウンドテーブル「障害児への性教育実践の専門性の向上」を開催した。

研究成果の内容

①諸外国の動向に関する研究

1)イギリスにおける知的障害児・者に対する性教育の検討

各分担者が翻訳作業を進めているが、翻訳の相互検討等を実施するには至っていない。翻訳出版

の権利は取得しており、継続して作業を進めることとした。

2)韓国における知的障害児・者に対する性教育の検討

韓国では特別支援学校においても年間 15 時間の性教育が必修になっていること、その内容は「性教育教授・学習資料開発支援計画」がベースになっていること、また、韓国全土に 53 か所設置されている「青少年の性文化センター」も教材提供等を行っていることなどが明らかになった。

②国内の萌芽的先進事例の収集

1)国内の萌芽的先進事例の収集

いくつかの特別支援学校においては「性教育」が実践されてはいるものの、国際水準である「包括的性教育」に至るものはほとんどなく、限定的であるという評価は否めない。七生養護学校事件のもたらした負の影響（性教育実践を躊躇してしまう傾向）は著しく、未だ啓発的な取り組みが必要な段階にあることが示された。

2)特別ニーズ教育学会におけるラウンドテーブルの開催

伊藤・児嶋に加え福祉型専攻科等で性教育実践を行う千住真理子氏が話題提供し、木全が指定討論を行う形で実施した。特別支援教育の場における性教育実践を推進するために教師がもつべき「専門性」についての議論を主題にしたが、一般参加者からは、それ以前の現場の困難性の課題の指摘が相次いだ。しかし、専門性の議論を継続していく必要があることは確認された。